

立命館大学法学部同窓会報

存心館

発行・文責：立命館大学法学部同窓会

発行住所：〒603-8577

京都市北区等持院北町56-1

立命館大学法学部事務室内

電話：075-465-8175 (直)

Eメール：law-alum@st.ritsumeai.ac.jp

URL：http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/cg/law/n_dosokai/index-a.html

2010年度法学部同窓会 講演会・総会・懇親会 報告



平成22年6月5日(土)午後、京都ロイヤルホテル&スパにおいて2010年度立命館大学法学部同窓会総会が約130人の参加を得て開催されました。

大井一星会長の挨拶の後、総会に先立ち本会副会長でNHKホール支配人の川端義明氏による「テレビジャーナリズムの行方～デジタル時代をどう生き抜くか～」と題する講演会が開催されました。

昭和50年に本学法学部を卒業された川端氏はNHKに入局後、報道リポーターから「NHK モーニングワイド」などのキャスターを経て平成5年には「NHK ニュース7」初代キャスターをされ、その後も様々な報道に携わってこられました。

今回の講演ではそのようなNHKでの経験からTVジャーナリズムがどのように変容し、今後どのように展開していくのかを日頃テレビでは聞けないような視点から以下のように解説されました。

1年後に迫った「TV デジタル化」は様々な技術的革新をもたらし、それに伴う情報通信の多様化は報道のあり方まで変容させ、従来の紙媒体の新聞・雑誌からネット情報への移行が目覚ましい。これにより視聴者の選択肢が増え、情報提供者も業界の存亡を賭けて模索を続けている真っ只中にある、とされました。最後に現代ジャーナリズムの存在意義は情報の「価値判断」と視聴者の「選択」が決め手となる、と指摘されました。

参加者一同、本学法学部出身のジャーナリストからマスコミの最新の動向を大変興味深く聴く機会を得られた充実した講演会でした。

総会では各議案も承認され、その後に開催された懇親会では、二宮周平法学部長の挨拶、奥西穂積財務委員長による乾杯の後、立命館大学マンドリンクラブの演奏や、恒例の抽選会などが催され、参加者一同恩師や同級生と旧交を温める楽しいひと時を過ごしました。

広報担当幹事 宮西 徳明



2010年6月6日ホームカミングデー法学部企画報告



平成22年6月6日（日）衣笠とびわこ・くさつキャンパスにおいて「ホームカミングデー」が開催されました。法学部もその一環として衣笠の「存心館」において「ゼミ同窓会イン存心館」と銘打った企画を開催しました。

ここでは田村悦一（行政法）ゼミのように「ユーロ統合」をテーマにしたゼミ教授の記念講演に100人以上のゼミ同窓生が参集したゼミや、望月爾（税法）ゼミのように在学生対象の進路・就職支援企画を実施したゼミもあり、同日総会を開催した「学生法律相談部 OB・OG 会」や「立命館司法書士校友会」と併せて16ゼミ・2団体から約300名の参加者がありました。

参加者一同、懐かしの、或いは卒年の古い者にとってはすっかり様変わりした学び舎で、久しぶりに再会するゼミ同窓生や指導教授と鼎談のひと時を過ごしました。前日の法学部同窓会総会から引き続き参加した同窓生も多く、他の様々な催しと併せ旧交を温めることができた、まさに「立命館ホームカミングデー」の二日間でした。

▲現在の法学部学舎「存心館」

広報担当幹事 宮西 徳明

「ゼミ同窓会イン存心館」実施ゼミ一覧（50音順）

井戸田 侃 先生（名誉教授）	田中 恒好 先生	二宮 周平 先生	望月 爾 先生
大久保 史郎 先生（名誉教授）	田村 悦一 先生（名誉教授）	久岡 康成 先生（名誉教授）	山田 泰弘 先生
小山 泰史 先生	中井 美雄 先生（名誉教授）	松本 克美 先生	山本 忠 先生
塩田 親文 先生（名誉教授）	中谷 猛 先生（名誉教授）	宮脇 正晴 先生	渡辺 千原 先生



▲「懐かしの広小路キャンパス展」
広小路校舎ジオラマ、ミニチュア模型

▼ 茶話会形式で開かれたゼミ同窓会のひとつ、
二宮周平先生（法学部長）のゼミの様様



法学部同窓会 会費納入のご案内

立命館大学法学部同窓会は2008年度より「終身会員制」を導入し、“暮らしと仕事に役立つ同窓会づくり”のために、多くの校友の皆様から同窓会運営（ゼミ同窓会開催への支援、同窓会報『存心館』の発行、ホームページの運営など）のご協力を頂いております。つきましては、下記のとおりご案内申し上げますので、会費納入についてご理解賜りますようお願い申し上げます。

終身会費をお支払いいただいている方へ

下欄の郵便振替用紙にて終身会費をご納入下さい。ご入金確認後、「終身会員証」と「オリジナル記念品」をお送りします。発送までに二週間前後お時間をいただきます。

既に終身会費をお支払いいただいた方へ

法学部同窓会では「学習支援基金」も募集しています。終身会費をお支払いになった方で、「学習支援基金」の納入にご協力いただける場合は、下欄の終身会費振込用紙の「支援基金として」を○で囲んでいただき、お振込みいただきますようお願いいたします。「学習支援基金」とは、法学部現役学生の様々な学習活動、就職活動へ先輩（法学部同窓会）から支援することを目的としており、通常同窓会運営経費とは別に積み立て、法学部ゼミナール大会での「同窓会賞」の提供などを行っています。

ご支援を頂きました場合は、後日、領収書とともに、同窓会長ならびに法学部長からの御礼状をお送りします。

なお、「これまでに終身会費を納入したかどうか分からない」「法学部同窓会の終身会員かどうか分からない」場合は、同窓会事務局（075-465-8175）までお問合せください。

02 大阪		払込取扱票				通常払込料金加入者負担									
口座記号番号						金額		千		百		十		円	
00990-0-160606						10000									
加入者名 立命館大学法学部同窓会						料金		備考							
卒業年 _____ 年卒															
ゼミ名 _____ ゼミ															
メールアドレス _____															
「終身会費として」・「支援基金として」必ずいずれかを○で囲んでください															
おところ（郵便番号） * _____						日		附		印					
おなまえ _____ (電話番号) _____						様									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号大第43580号)						印									
これより下部には何も記入しないでください。															

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号		00990-0				通常払込料金加入者負担									
加入者名		立命館大学法学部同窓会				金額		千		百		十		円	
		160606				10000									
ご依頼人		おなまえ _____				日		附		印					
料金		おなまえ _____				様									
備考															

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでください。

この受領証は、大切に保管してください。

立命館大学法学部同窓会規約（抜粋）

立命館大学法学部同窓会は、立命館大学法学部百年の歴史の中で培われた文化を再認識するとともに、第2世紀目の百年に向けて、私たちの新たな役割・立場を見出すべく、法学部校友のより広い多様な人々との社会的なネットワークを発展させ、相互の交流・支援を活発にし、独自の新文化を創造することを目的とする。本会の活動を通じて、私たちは、立命館大学法学部の同窓生として、相互の親睦を図るのみならず、文化的向上をも切に願うものである。

第3条（目的）

本会は、立命館大学法学部および大学院法学研究科および大学院法務研究科（法科大学院）の卒業生相互の交流親睦を図り、独自の文化活動を行うことを目的とする。

第4条（事業）

前条の目的を達成するため、本会は、次の事業を行う。

- 1 定例または臨時の総会の開催
- 2 在学生との交流を企図する事業
- 3 講演会、講座、その他の文化的活動
- 4 ゼミ同窓会活動への支援
- 5 法学部同窓会登録団体活動への支援
- 6 法学部同窓会誌の発行と広報活動
- 7 その他幹事会が適当と認めた事業

第5条（会員）

- ①本会の会員は次のとおりとする。
 - 1 立命館大学法学部の卒業生
 - 2 立命館大学大学院法学研究科の各課程の修了者または単位取得退学者
 - 3 立命館大学大学院法務研究科（法科大学院）の修了者

- 4 立命館大学法学部または大学院法学研究科に所属する教員または教員であった者
- 5 立命館大学大学院法務研究科（法科大学院）に所属する教員または教員であった者
- 6 その他、本会幹事会が会員資格を授与することを適当と認めた者

- ②立命館大学法学部在学時に第13条第2項第1号に定める方法により会費を納めた者で、その後学籍を失った者は、前項第1号の卒業生とみなす。

第13条（会費）

- ①本会の会費は次のとおりとする。

終身会費 10,000円
- ②前項の会費は、次の各号に定める方法により徴収する。
 - 1 第5条第1項第1号により会員となる者の会費は、法学部4回生在学時に徴収する。
 - 2 第5条第1項第2号から第6号により会員となる者の会費は、幹事会の定める方法により徴収する。

（ご注意）

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

法学部同窓会企画の報告

2010年4月10日(土)

「お花見会」 大阪水上バスアクアライナークルーズ

法学部同窓会春恒例の「お花見会」を好天のもと開催しました。

今年は大阪での開催となり、大阪水上バス「アクアライナー」に乗船し、船からのお花見でした。大阪城港を出て、一周約1時間のクルーズです。今年は例年より少し早めの日程であったのでちょうど桜も見頃で、窓だけではなく天井もガラス張りとなっているアクアライナーからの眺めは、開放的で素晴らしいものでした。

下船後の懇親会は大阪城港近くの高層ビル、IMPビル26階レストランで行いました。26階とあって、ここからの景色も圧巻でした。



2010年8月28日(土)

夏季納涼企画「ビール工場見学会」

同窓会初の夏季企画で、長岡京市の「サントリー京都ビール工場」へ行きました。

ビール製造工程見学と試飲とで所要時間60分の見学会です。工場スタッフの方の工場内案内とビール製造工程の解説がありました。ビールの素材であるホップを実際に見たり触ったりするのは初めての方も多かったことでしょう。そしてその後はお待ちかねのこだわりビールの試飲でした。酷暑で渴いた喉に、冷えたビールは格別でした。

工場見学の後は、恒例の懇親会を行いました。夏の午後のひとときを、いつもの法学部同窓会の和気藹々と和やかな雰囲気でご過ごすことができました。



2010年度 これからの企画予定

10

「秋の繁昌亭鑑賞会」と
懇親会

月23日(土)

- 繁昌亭昼席チケット代：1,800円
- 懇親会費：5,000円（予定）

春秋恒例となりました好評の企画です。
大いに笑って、日頃のストレスを吹き飛ばしてください。

11

衣笠キャンパス学園祭企画
「同窓会無料喫茶室」

月13日(土)

- 会場：衣笠キャンパス
存心館1階
- 時間：11:00～16:00
- 参加申し込み不要です



これも恒例となりました。懐かしの母校
散策と学園祭の雰囲気を楽しむに、ぜひ
お立ち寄り下さい。

12

法学部同窓会 忘年会

月11日(土)

- 会場：未定（京都市内）
決定次第ホームページにて公開します
- 会費：5,000円（予定）



この一年の振り返りと翌年への飛
躍の糧とするとともに、同窓生相
互の更なる親睦をはかりましょう。



2011年2月には「春の繁昌亭鑑賞会」、4月には
「お花見会」を予定しています。

各企画の申込方法は、詳細が確定次第ホームペ
ージに公開します。ぜひ同窓会ホームページをチェッ
クしてください。

検索エンジンにて

立命館大学法学部同窓会 検索



「普段は狭い範囲での仕事なので、接点がない」「同
世代だけでなく、いろんな世代と交流したい」「様々
な業種・職種の方と接点を持ちたい」「久しぶりに同
級生やクラブの先輩に会いたい」…、日頃このよう
にお考えの方はぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

その他、企画についてのお問合せは右記まで。

立命館大学法学部同窓会事務局（法学部事務室内）
TEL：075-465-8175（平日9時～17時30分）